

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【公表番号】特表 2019-525454 (P2019-525454A)
【公表日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)
【年通号数】公開・登録公報 2019-036
【出願番号】特願 2018-567092 (P2018-567092)
【国際特許分類】

H 0 1 L 35/32 (2006.01)

H 0 2 N 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 35/32 A

H 0 2 N 11/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱電テープであって、
複数のビアを有する可撓性基材と、
前記可撓性基材と一体化され並列に接続された一連の可撓性熱電モジュールであって、
各可撓性熱電モジュールが、
複数の p 型熱電素子と、
複数の n 型熱電素子と、を備え、前記複数の p 型熱電素子のうちの少なくとも一部が
n 型熱電素子に接続されている、一連の可撓性熱電モジュールと、
前記熱電テープに沿って長手方向に走る 2 つの導電性バスであって、前記一連の可撓性
熱電モジュールは前記導電性バスに電気接続されている、2 つの導電性バスと、
前記可撓性基材の表面上に配置された熱伝導性接着剤層と、
を備える、熱電テープ。

【請求項 2】

前記熱電テープに沿って長手方向に配置された断熱材料のストライプを更に備える、請
求項 1 に記載の熱電テープ。

【請求項 3】

前記熱電テープに沿って長手方向に配置された 2 つの断熱材料のストライプであって、
前記 2 つの断熱材料のストライプの各々は、前記熱電テープの縁部に配置されている、2
つの断熱材料のストライプを更に備える、請求項 1 に記載の熱電テープ。

【請求項 4】

前記熱電テープがロールの形態である、請求項 1 に記載の熱電テープ。

【請求項 5】

各熱電モジュールが前記複数の p 型及び n 型熱電素子のうちの 1 つとビアとの間に配置
された接合構成要素を更に備える、請求項 1 に記載の熱電テープ。

【請求項 6】

前記可撓性基材の第 1 の面上に配置された第 1 の導電性層を更に備え、前記第 1 の導電
性層は第 1 のセットのコネクタを形成するパターンを有する、請求項 1 に記載の熱電テ

ブ。

【請求項 7】

前記第 1 の面とは反対向きの前記可撓性基材の第 2 の面上に配置された第 2 の導電性層を更に備え、前記第 2 の導電性層は第 2 のセットのコネクタを形成するパターンを有する、請求項 6 に記載の熱電テープ。

【請求項 8】

前記熱電テープの単位面積熱抵抗が、 $1.0 \text{ K} \cdot \text{cm}^2 / \text{W}$ 以下である、請求項 1 に記載の熱電テープ。